

豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.44)

1. 豊田PCB廃棄物処理施設の運転状況について

豊田PCB廃棄物処理施設(豊田施設)では、順調に運転しています。

昨年及び一昨年は、秋から冬の間にかけて施設停止に至るような事故等が発生させてしまいましたが、今年は安全な処理を継続しています。

今後も安全かつ確実に処理を進めてまいります。

19年11月の操業実績

種 別		受入台数	抜油・解体台数
コンデンサ類		371 台	368 台
トランス類	大 型	3 台	3 台
	小 型	23 台	23 台
	車 載 型	3 台	3 台

※ 受け入れ後、一時保管してから計画的に処理ラインに投入するので、受入台数と抜油・解体台数に差が生じます。



小型トランスの検査確認
(収集運搬時にPCBの漏洩がなかったか等を確認)



解体設備内における小型トランスの切断状況

2. PCB廃棄物の12月の受入計画

19年12月の受入計画(予定)

種 別		受入台数
コンデンサ類		164 台
トランス類	大 型	2 台
	小 型	8 台
	車 載 型	1 台

12月のPCB廃棄物の受入計画は、左表のとおりです。

コンデンサ類は、豊田市内の少量保管事業者(PCB廃棄物所有数20台未満)を中心に66台、愛知県内から98台受け入れる予定です。

大型・小型トランス類は愛知県内から10台、車載型トランスは静岡県内から1台受け入れる予定です。

なお、12月は中旬に定期点検を行うため、PCB廃棄物の受け入れは通常より少なく計画しています。

3. PCB廃棄物収集運搬に係る連絡会議の開催等について

11月22日、弊社は、安全で確実なPCB廃棄物の収集運搬の徹底を図ること等を目的として、豊田市立ち会いのもと、PCB廃棄物収集運搬事業者との連絡会議を開催しました。

会議では、まず弊社から①PCB廃棄物の収集運搬ガイドラインの熟知と徹底、②マニフェストについて記載の指導と徹底、③雨天時の連絡対応、④少量保管事業者が保管するPCB廃棄物の積み合わせ運搬に対する協力依頼等について説明しました。

つづいて豊田市から、①『豊田市ポリ塩化ビフェニル廃棄物の収集運搬に係る安全性と環境保全の確保に関する協定書』の確認と徹底、②作業安全上の注意等について説明していただきました。

また、11月26日にはPCB廃棄物の収集運搬事業者を新たに1社認定し、収集運搬事業者は合計17社となりました。収集運搬事業者の詳細情報については、下記のアドレスをご参照ください。

【収集運搬事業者に関するアドレス】

<http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/acceptance/list.html>



連絡会議の開催状況

4. 環境安全への取り組み



玉掛け講習(実技指導)の受講状況



安全の日(11月21日)における訓辞

(1)玉掛け講習の受講

豊田施設では、PCB廃棄物や解体物等重量物の運搬時にクレーンを用います。重量物にワイヤーを掛けたり、クレーンのフックに掛けたりはずしたりすることを『玉掛け』といいます。

この作業は有資格者が行いますが、施設全体として安全作業を行っているかを確認するため、11月8日に外部講師を招いて講習を行いました。

講習会では、①玉掛けの基本操作について、②実技指導等について受講しました。この受講で学んだことを活かし、安全な作業を行っていきます。

(2)安全の日

豊田施設では毎月21日を『安全の日』としています。

豊田施設のPCB漏洩事故から、ちょうど2年となった11月21日の『安全の日』には、本社事業部長及び事業所長等から社員へ以下の内容の訓辞を行いました。

- ① PCB漏洩事故という事故の重大性を再認識して、安全性に十分留意して処理を進めること
- ② PCB廃棄物処理は国策事業であり、重大な責任を負っていることを強く認識すること 等

弊社として、これからもPCB漏洩事故を決して忘れず、安全に対して強く認識してPCBの処理を進めていきます。

5. 環境モニタリング調査について

豊田施設では、豊田市と弊社の間で締結している『豊田ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業に係る安全性と環境保全の確保に関する協定書』に基づき、環境モニタリング調査を実施しています。

この調査は、PCB廃棄物処理事業の実施により周辺の生活環境に影響を与えていないことを確認するため、年間を通して外部の測定機関により実施しています。11月は①周辺大気、②施設からの排気と排水、③敷地内の土壌と地下水等について行いました。

なお、調査結果の概要は今後の事業だよりで報告し、詳細については弊社ホームページで公表する予定です。また、昨年度までの環境モニタリングの結果は下記のアドレスで公表していますのでご参照ください。

【環境モニタリングに関するアドレス】

<http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/environment/monitoring.html>



周辺大気を採取する装置
(ハイボリュームエアサンプラー)

6. 財団法人省エネルギーセンターによる現地調査



中央制御室における省エネルギー現地調査

11月16日、豊田施設において『エネルギー使用合理化の現地調査』が行われました。

この調査は、『エネルギーの使用の合理化に関する法律』に基づき、経済産業省の委託を受けた(財)省エネルギーセンターが、調査対象工場のエネルギーの使用状況を現地確認し、省エネルギーに必要な指導・助言等の措置を行うものです。

今般は、環境省中部地方環境事務所の立ち会いのもとで行われ、弊社からは①事業概要、②処理工程、③電気設備等に係る説明・報告等をいたしました。

弊社として、これからも節電に気を配る等省エネルギーにも十分配慮しながらPCBの処理を進めていきます。

連絡先

日本環境安全事業株式会社(JESCO)

(連絡先) 豊田事業所 0565-25-3110

【豊田事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>